はままつ

# 図書館だより

3月号
vol.229
令和8年2月27日
浜松市立図書館

戦災で焼失前の頭陀寺
（絵葉書「浜松近郊名勝」）
浜松市文化遺産デジタルアーカイブ

豊臣秀吉は少年時代、頭陀寺の南に屋敷を構えた松下加兵衛に仕えていました。

特集

## 浜松の秀吉ゆかりの地をたずねて

# 浜松市内　秀吉ゆかりの地

二万分一地形図　浜松　明治23年測図　明治25年製版　大日本帝国陸地測量部
を加工編集しています。

今年の大河ドラマ「豊臣兄弟！」に登場する豊臣秀吉は少年時代に頭陀寺の松下加兵衛に仕えて武士としてスタートしました。明治２５年の地図には、伝松下屋敷跡がはっきり残っています（4）。秀吉は加兵衛に連れられ引間城を訪れ、城主の飯尾豊前守に目通りしました。（出典：太閤素性記）

また、伝松下屋敷の近くの池で、鎌を研いだり（5）、メダカの目に松葉を刺したりした（6）伝説が伝わっています。（出典：遠州伝説集）

のちに天下人になった秀吉が東海道を下り、浜松へ来た際の朱印状があります。（左の写真：豊臣秀吉朱印状）

中央図書館調査支援室では、浜松時代の秀吉に関する書籍等を所蔵しています。どうぞご利用ください。



豊臣秀吉朱印状（浜松市博物館所蔵）

天下人となった秀吉は、天正１８年（1590）３月１３日　北条攻めのため、小田原に向かう途中、浜松（浜松城）へ着陣しました。

この朱印状は、浜松にいる秀吉が、先に向かった配下の武将たちに戦いの準備のため、指示を出したものです。（浜松市文化遺産デジタルアーカイブで見ることができます。）



１　浜松城跡（中央区元城町）



２　引間城跡（中央区元城町）

３　頭陀寺　（中央区頭陀寺町）

４　伝松下屋敷跡（中央区頭陀寺町）

５　鎌研池（中央区頭陀寺町）

６　目刺橋（中央区西伝寺町）

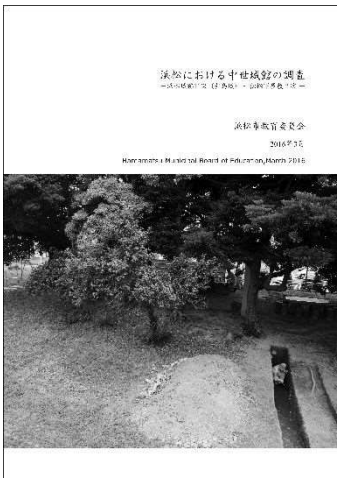
# 郷土資料案内

## 秀吉ゆかりの城跡を掘る！

### 浜松（はままつ）における中世城館（ちゅうせいじょうかん）の調査（ちょうさ）

**―浜松城跡11次（引馬城）・伝松下屋敷2次―**
**浜松市教育委員会／発行　2016年**

特集でも紹介しました引間城と伝松下屋敷跡ですが、2014年に引間城（浜松城跡11次）、2015年に伝松下屋敷跡（２次）を浜松市教育委員会が発掘調査しています。
引間城は、家康により浜松城が整備されるまで、この地域の拠点となっていた城です。元城東照宮の境内発掘調査では15～16世紀の陶器片などが出土し、秀吉が訪れた時の城主飯尾豊前守や家康在城時の時期と重なることが確認されています。
伝松下屋敷では、屋敷を囲っていた土塁（どるい）の一部が頭陀寺第一公園で確認されました。以前、この東側から建物跡が見つかり、この場所に秀吉が住んでいたであろうと想像できます。
この報告書を見てイメージを膨らめてから現地見学することをお薦めします。



※「引間」の地名には、「引馬」「曳馬」と諸説あります。

## 図書館からのお知らせ

### ～図書館で学ぶいきいき健康講座～
### 「介護予防ってなぁに？何をどうすれば？」

市内の医療・介護の専門職がわかりやすくお話をします。
日時：令和８年３月９日（月）10時00分～11時30分
定員：30人（先着順）
会場：浜松市立中央図書館 2階 大会議室
申込：電話・Web・直接来館にて受付中

詳細は図書館HP

# はままつ図書館だより No.229（2026年2月27日発行）

浜松市立中央図書館
浜松市中央区松城町214番地の21
☎ 053−456−0234　FAX 053−453−2324
✉ chuo@city.hamamatsu.shizuoka.jp
ホームページ https://www.lib-city-hamamatsu.jp/

図書館だより
バックナンバー